



KYOTO
COLLEGE OF NURSING

2024 年度 授業概要（2 年次）



学校法人 京都育英館

京都看護大学

目次（2024年度2年次）

中級ゼミ 1	1
中級ゼミ 2	2
中級中国語	3
上級中国語	4
基礎フランス語	5
中級フランス語	6
人間と生活行動 4	7
人間と生活行動 5	8
人間と生活行動 6	9
人間と生活行動 7	10
臨床心理学	11
臨床推論	12
看護過程論 1	13
看護過程論 2	14
看護過程論演習	15
国際看護論	16
国際看護論実習	17
生活行動逸脱看護 4	18
生活行動逸脱看護 5	19
生活行動逸脱看護 6	20
生活行動逸脱看護 7	21
生活行動看護演習 4	22
生活行動看護演習 5	23
生活行動看護演習 6	24
生活行動看護演習 7	25
生活行動看護総合演習	26
生活行動看護実習 1	27
生活行動看護実習 2	28

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
中級ゼミ1		BNNBL05E03	202210104	2前(5T)	1(15)	必修
担当教員	◎中島 優子		実務歴	有	看護師として病院に勤務	
担当教員	井上 深幸		実務歴	有	看護師として病院/診療所に勤務	
担当教員	川嶋 元子		実務歴	有	看護師として病院に勤務	
担当教員	南 好江		実務歴			
概要	科学的思考の基礎を修得することを目的に、自身の興味・関心に基づいた疑問について、関連する研究論文を検索、精読し、批判的に吟味し、疑問に対する解を見出すプロセスを経験する。成果は、研究論文の構成に沿って記述を行ない、プレゼンテーションする。少人数のゼミナール形式で行う。					
到達目標	1)健康の保持増進を支援していくために必要だと考える現象や疑問を活動の場から明確にできる。 2)疑問を探究していくために必要な健康の保持増進に関連する論文を検索・入手できる。 3)関連した論文を精読、批判的に吟味し、疑問に対する解を基礎知識と体験を踏まえて考察できる。 4)論理的な書き方を用いて成果をまとめ、発表をすることができる。					
関連科目	基礎ゼミ1・基礎ゼミ2					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	授業参画	60%	1)20% 2)20% 3)20%		授業内でフィードバック	
	レポート	40%	3)20% 4)20%		コメントを記載し返却	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	日程	学修内容		事前・事後課題		取組時間
1	4月17日	・ディプロマポリシーと本科目の位置づけ ・授業概要と到達目標と事前・事後学修の取組み ・健康の保持増進を支援する活動の場 ・“健康とは” “ヘルスプロモーション”		【事前】“健康とは”について既習知識の整理をする。 4/15(月)までにwebポータルに提出する。 【事後】健康の保持増進を支援する活動内容と活動の場について復習する。自身で調べた内容を整理する。期限内に提出		予習2時間 復習2時間
2	4月24日	保健行動を促す理論 ・行動変容ステージモデル		【事前】保健行動を促す理論について調べる。 授業で確認したい内容を整理し提出する。 【事後】受講して理解した内容、新たな疑問について整理する。期限内に提出		予習2時間 復習2時間
3	5月1日	保健行動を促す理論を活用した論文の精読、批判的吟味 健康の保持増進を支援する看護		【事前】学修内容を踏まえて保健行動を促す理論を活用した論文を検索・入手し、書式に沿って整理する。 【事後】理解した内容、新たな疑問について整理する。期限内に提出		予習2時間 復習2時間
4	※ 5/11, 18, 25, 6/1 より1日	健康の保持増進を支援する活動-1(健康体操)		【事前】活動への参画にあたり“行動変容ステージモデル”などの基礎知識を活用し自身の役割を整理する。期限内に提出 【事後】参画後の評価を行う。 “健康の保持増進のために必要だと考える現象や疑問”を“行動変容ステージモデル”などの基礎知識を活用して整理する。期限内に提出		予習2時間 復習2時間
5	6月12日	体験の共有 ・健康の保持増進のために必要だと考える現象や疑問の 明確化		【事前】各自の活動内容をグループ内で発表できるように準備する。 【事後】グループでの共有内容を踏まえて新たな気づきや次回の活動に向けた内容を整理する。期限内に提出		予習2時間 復習2時間

6	※ 6/15, 6/22, 7/6 より1日	健康の保持増進を支援する活動-2(健康体操)	【事前】初回の評価を踏まえて、2回目の活動へどのように参画するか整理する。期限内に提出 【事後】参画後の最終評価を行う。 前回の評価を踏まえて“健康の保持増進のために必要だと考える現象や疑問”を“行動変容ステージモデル”などの基礎知識を活用して整理する。期限内に提出	予習2 時間 復習2 時間
7	7月17日	課題発表準備	【事前】課題に則って各自の体験をグループ内で発表できるようにまとめる。 【事後】pptでの発表準備	予習1 時間 復習1 時間
8	8月7日	課題発表	【事前】pptでの発表原稿の提出 【事後】最終レポートへの取り組み	予習2 時間 復習2 時間
使用 テキスト		なし		
参考図書		適宜紹介する。		
教員に対する質問方法		中島優子 y_nakashima@kyotokango.ac.jp 井上深幸 m_inoue@kyotokango.ac.jp 川嶋元子 m_kawashima@kyotokango.ac.jp 南好江 y_minami@kyotokango.ac.jp オフィスアワー：在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
中級ゼミ2		BNNBL07E04	202210104	2後(7T)	1(15)	必修
担当教員	◎川嶋 元子	実務歴	有	看護師として病院に勤務		
担当教員	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に勤務		
担当教員	中島 優子	実務歴	有	看護師として病院に勤務		
担当教員	南 好江	実務歴	有	看護師として病院に勤務		
概要	他者と協働して物事を推進する際に必要なリーダーシップ能力と、他者に働きかける力を育成する。小グループを編成し、地域に暮らす人々と共に、既修内容を活用して健康増進のための活動計画と評価指標を作成する。計画は地域住民と共に実施し、指標に基づいて評価を行い、計画の有効性を検討する。					
到達目標	1)個人の主体的な健康づくりのための支援に関する知識及びチャレンジブックを活用し、地域住民と共に健康増進のための活動計画立案ができる。 2)地域住民と共に健康増進のための活動計画の評価ができる。 3)地域に暮らす人々が理解できるよう伝え、関係性を維持しながら健康増進活動を推進することができる。 4)グループメンバーと協働して、グループメンバーの目標が達成できるよう働きかけることができる。また、自己の目標が達成できる。 5)ヘルスプロモーションモデル、エンパワメントデューケーション、行動変容ステージモデルなど、個人の主体的な健康づくりのための支援の方法を活用した健康増進活動の体験について述べ考察することができる。					
関連科目	基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 中級ゼミ1					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	授業参画(課題・発表)	60%	1)30% 2)10% 3)10% 4)10%		授業内でフィードバック	
	レポート	40%	4)10% 5)30%		コメントを記載し返却	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			事前・事後課題		
1	■ガイダンス ヘルシーキャンパスとウォーキングチャレンジ 健康増進活動を促す教育的アプローチ 健康教育の媒体 GW:チャレンジブック表紙と媒体のアイデア			【事前】 提示された事前課題を行う 【事後】 提示された事前課題を行う *別途課題を提示します		
2	■健康増進活動を促す教育的アプローチ ロールプレイ:事例Aさんへの動機づけと目標設定 健康教育媒体の確認・修正 面接方法・血圧測定の確認			【事前】 提示された事前課題を行う 【事後】 提示された事前課題を行う *別途課題を提示します		
3	■主体的な健康づくりのための支援/協働活動 -関係性の構築、個別性を踏まえた活動計画の立案-			【事前】 提示された事前課題を行う 【事後】 提示された事前課題を行う *別途課題を提示します		
4	■主体的な健康づくりのための支援/協働活動 -個別性を踏まえた保健指導の媒体の作成- ■作成した媒体の発表			【事前】 提示された事前課題を行う 【事後】 提示された事前課題を行う *別途課題を提示します		
5	■主体的な健康づくりのための支援/協働活動 -計画実施と評価-			【事前】 提示された事前課題を行う 【事後】 提示された事前課題を行う *別途課題を提示します		

6	<p>■ 自己の健康増進活動の評価 -ウォーキングチャレンジの振り返り-</p>	<p>【事前】提示された事前課題を行う 【事後】提示された事前課題を行う * 別途課題を提示します</p>
7	<p>主体的な健康づくりのための支援/協働活動 -達成度・満足度の評価-</p>	<p>【事前】提示された事前課題を行う 【事後】提示された事前課題を行う * 別途課題を提示します</p>
8	<p>■ まとめ -主体的な健康づくりの到達度評価-</p>	<p>【事前】提示された事前課題を行う 【事後】提示された事前課題を行う * 別途課題を提示します</p>
使用テキスト	なし	
参考図書	適宜紹介する。	
教員に対する質問方法	<p>中島優子 y_nakashima@kyotokango.ac.jp 井上深幸 m_inoue@kyotokango.ac.jp 川嶋元子 m_kawashima@kyotokango.ac.jp 南好江 y_minami@kyotokango.ac.jp オフィスアワー：在校生HPを確認</p>	

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
中級中国語	BNNHU05L15	202220205	2前	2(30)	選択
担当教員	高橋 詩子				
概要	中国語を学ぶ医療系学生を対象にした科目である。中国語を初めて学ぶ学生も適応できるよう、入門から始める。語学学習は正しい学習方法と興味が大切である。Withコロナの時代を迎え、予想できないグローバルな舞台が学生諸君を待っている。医療看護に加え、語学で患者を支える第一歩を踏み出す。更に、将来様々な形での看護学を实践すべく、生涯の礎を築ききっかけになることを期待する。				
到達目標	相手の話を聞き取り、自分の言いたいことを正しく伝えることができる。文法を理解して正しい中国語を習得する。中国語検定4級/準4級合格を目指す。				
関連科目	基礎中国語、上級中国語				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法	
	単語/リスニング/文法の小テスト	15%	単語・リスニング:15%	毎回採点后個別に指示	
	期末試験	85%	単語:15% 文法:30% 中国語作文:40%	試験後に一斉復習	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践 ◎
回	学修内容	予習・復習内容		取組時間	
1	授業の進め方/中国と中国語 第1課:こんにちは(1) 単語・本文	特に無し		—	
2	第1課:こんにちは(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第1課内容)		予習2時間 復習2時間	
3	第2課:あなたは中国人ですか(1) 単語・本文	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第1課内容)		予習2時間 復習2時間	
4	第2課:あなたは中国人ですか(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第2課内容)		予習2時間 復習2時間	
5	第3課:健康保険証を持っていますか(1) 単語・本文	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第2課内容)		予習2時間 復習2時間	
6	第3課:健康保険証を持っていますか(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第3課内容)		予習2時間 復習2時間	
7	第4課:家族にはどんな人がいますか(1) 単語・本文	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第3課内容)		予習2時間 復習2時間	
8	第4課:家族にはどんな人がいますか(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第4課内容)		予習2時間 復習2時間	
9	第5課:あそこで少しお待ちください(1) 単語・本文	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第4課内容)		予習2時間 復習2時間	
10	第5課:あそこで少しお待ちください(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第5課内容)		予習2時間 復習2時間	
11	第6課:少し話せます(1) 単語・本文	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第5課内容)		予習2時間 復習2時間	
12	第6課:少し話せます(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第6課内容)		予習2時間 復習2時間	
13	第7課:検査室に行って検査をしてください(1) 単語・本文	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第6課内容)		予習2時間 復習2時間	
14	第7課:検査室に行って検査をしてください(2) 文法と練習問題	単語(前回に指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第7課内容)		予習2時間 復習2時間	
15	前期試験対策 総復習	今までのテストの見直し(総復習)		予習2時間 復習2時間	
使用テキスト	「医療系学生のための初級中国語」白帝社 山田真一				
参考図書	必要時に紹介する				
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)				

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
上級中国語	BNNHU07L16	202220206	2後	2(30)	選択
担当教員	高橋 詩子				
概要	中級中国語で学んだ知識の上に、後期はいよいよ中国語でよく使う表現を用い、少々高度な文章及び文法を学ぶ。病院内で用いる頻度の高いセッティングの下、実用会話表現をマスターする。また、第14回目に中国語検定 講座を設ける。				
到達目標	相手の話を聞き取り、自分の言いたいことを正しく伝えることができる。文法を理解して正しい中国語を習得する。中国語検定4級/準4級合格を目指す。				
関連科目	基礎中国語、中級中国語				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法	
	単語小テスト	15%	授業参画・単語小テスト: 15%	毎回の単語小テストで個別指導	
	定期試験	85%	単語:15% 文法:30% 中国語作文:40%	定期テスト後、問題点は個別に指導	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践 ◎
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間
1	第8課: どうしましたか(1) 単語と本文		特に無し		—
2	第8課: どうしましたか(2) 文法と練習問題		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語で答える練習(第8課内容)		予習2時間 復習2時間
3	第9課: 口を開けてください(1) 単語と本文		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語に翻訳(第8課内容)		予習2時間 復習2時間
4	第9課: 口を開けてください(2) 文法と練習問題		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語で答える練習(第9課内容)		予習2時間 復習2時間
5	第9課: 口を開けてください(3) 応用と会話		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 指定された会話練習		予習2時間 復習2時間
6	第10課: この薬を飲んだことがありますか(1) 単語と本文		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語に翻訳(第9課内容)		予習2時間 復習2時間
7	第10課: この薬を飲んだことがありますか(2) 文法と練習問題		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語で答える練習(第10課内容)		予習2時間 復習2時間
8	第11課: 服をあそこに置いてください(1) 単語と本文		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語に翻訳(第10課内容)		予習2時間 復習2時間
9	第11課: 服をあそこに置いてください(2) 文法と練習問題		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語で答える練習(第11課内容)		予習2時間 復習2時間
10	第11課: 服をあそこに置いてください(3) 応用と会話		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 指定された会話練習		予習2時間 復習2時間
11	第12課: 病状はずっとよくなりました(1) 単語と本文		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語に翻訳(第11課内容)		予習2時間 復習2時間
12	第12課: 病状はずっとよくなりました(2) 文法と練習問題		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語で答える練習(第12課内容)		予習2時間 復習2時間
13	第12課: 病状はずっとよくなりました(3) 応用と会話		単語(前回に指定したもの)テスト用準備 中国語に翻訳(第12課内容)		予習2時間 復習2時間
14	中国語検定(4級/準4級)指導		単語(前回に指定したもの)テスト用準備		予習2時間 復習2時間
15	後期テスト対策 総復習		後期単語テストの復習		予習2時間 復習2時間
使用テキスト	「医療系学生のための初級中国語」白帝社 山田眞一				
参考図書	必要時に紹介する				
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)				

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
基礎フランス語	BNNHU05L17	202220207	2前	2(30)	選択
担当教員	福本 逸美				
概要	初めてフランス語を学ぶ学生を対象とする。発音・文字などの基礎の基礎から、徐々に、文の成り立ちを学びつつ、簡単なコミュニケーションができるようにする。コロナ禍を体験した私たちは、人間関係を築く上で、人と人との直接的な関わり合いがどれほど大切かよくわかった。外国語の学習を通じて、その大切さを改めて感じてもらいたい。				
到達目標	・フランス語の基本的な仕組みを理解し、簡単なフランス語を話し聞き取る能力が身につけられる。 ・フランス語検定5級合格の準備ができる。				
関連科目	中級フランス語				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法	
	授業時の評価	60%	小テスト:20% 発表:40%	毎回コメントや解説	
	定期試験	40%	発音:16% 単語・文法:16% フランス語表現:8%	試験後に見直し	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践
回	学修内容	予習・復習内容		取組時間	
1	フランス語の音			予習2時間 復習2時間	
2	フランス語の文字と記号	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
3	あいさつ / フランスってどんな国?	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
4	こんにちは・すみません	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
5	数 1~20	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
6	フランス語の名詞	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
7	名詞につける冠詞	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
8	コーヒーを注文する	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
9	身の回りの物	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
10	規則変化する動詞	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
11	自分の名前を言う	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
12	否定文	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
13	さまざまな否定表現	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
14	復習	前回の復習と単語調べ		予習2時間 復習2時間	
15	まとめ	前回の復習と単語調べ、総復習		予習2時間 復習2時間	
使用テキスト	『クロワッサン1』 松村博史／バンドロム・エディ, 朝日出版社, 2024				
参考図書	適宜紹介する				
教員に対する質問方法	非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)				

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
中級フランス語		BNNHU07L18	202220208	2後	2(30)	選択
担当教員	福本 逸美					
概要	前期「基礎フランス語」で学習したことを踏まえ、さらにリスニング、読み書き、表現力を高めていく。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えをさらによく理解できるようになる。 ・必要なことをフランス語で表現する力を高めることができる。 ・フランス語検定5級(よく勉強すれば4級)合格を目指す。 					
関連科目	基礎フランス語					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業時の評価	60%	小テスト:20% 発表:40%	毎回コメントや解説		
	定期試験	40%	発音:16% 単語・文法:16% フランス語表現:8%	試験後に見直し		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	前期の復習	「基礎フランス語」の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
2	「～である」	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
3	身分を言う	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
4	数 21以上	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
5	フランス語の形容詞	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
6	時刻の表現	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
7	国名と国籍	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
8	練習問題	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
9	「行く」	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
10	「来る」	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
11	所有形容詞 (7課)	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
12	近い未来と近い過去	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
13	曜日と月名	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
14	復習	前回の復習と単語調べ			予習2時間 復習2時間	
15	まとめ	前回の復習と単語調べ、総復習			予習2時間 復習2時間	
使用テキスト	『クロワッサン1』 松村博史／バンドロム・エディ, 朝日出版社, 2024					
参考図書	適宜紹介する					
教員に対する質問方法	非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
人間と生活行動4(生命を維持すること)		BNNHU05L23	202220304	2前 5ターム	3(23)	必修
担当教員	◎田村葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
	吉田乃里子		有	看護師として病院に25年勤務		
	吉田玉美					
概要	看護実践の目的は、人間ひとりひとりが自己の健康を保持、増進、回復することによって「よく生きること」を可能にすることである。その目的達成のために看護職者は 生活行動を支援するという視点 から、人間の生活行動の「 呼吸すること・体温を調節すること・安全な環境を維持すること 」をとり挙げ、 ライフスパン別 に、 生活行動への影響要因である生物学的要因(人体の構造・機能)、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因 について学修する。					
到達目標	1.「呼吸すること」「体温を調節すること」「安全な環境を維持すること」の概要を述べるができる。 2.「呼吸すること」への影響要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)について、各ライフスパンの特徴をふまえて説明できる。 3.「体温を調節すること」への影響要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)について、各ライフスパンの特徴をふまえて説明できる。 4.「安全な環境を維持すること」への影響要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)について、各ライフスパンの特徴をふまえて説明できる。					
関連科目	看護学原論、ライフスパンと人間発達、人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7、生活行動看護実習1.2					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対する評価基準等		評価に対するフィードバック	
	定期試験	60	到達目標1・・・10% 到達目標2・・・20% 到達目標3・・・10% 到達目標4・・・20%		定期試験後のレビュー	
	事前事後学修課題	40	到達目標1・・・5% 到達目標2・・・15% 到達目標3・・・5% 到達目標4・・・15%		各講義時間	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践
回	学修内容		予習内容	復習内容	取組時間	
1	■ガイダンス ■「呼吸すること」とは ■「呼吸すること」とライフスパンの概要		提示された事前課題を行う (別途課題を提示します)	提示された事後課題を行う(別途課題を提示します)	1時間	
2	■「呼吸すること」とその影響要因:胎児期・乳幼児期・幼児期・学童期				1時間	
3	1.生物学的要因 2.心理的要因 3.社会文化的要因				1時間	
4	4.環境的要因 5.政治経済的要因				1時間	
5					1時間	
6	■「呼吸すること」とその影響要因:思春期・青年期・成人期・老年期				1時間	
7	1.生物学的要因 2.心理的要因				1時間	
8	3.社会文化的要因 4.環境的要因				1時間	
9	5.政治経済的要因				1時間	
10					1時間	

11	■「呼吸すること」とその影響要因:まとめ	提示された事前課題を行う (別途課題を提示します)	提示された事後 課題を行う(別途 課題を提示しま す)	1時間
12	■「安全な環境を維持すること」とは ■「安全な環境を維持すること」とライフスパンの概要			1時間
13	■「安全な環境を維持すること」とその影響要因:胎児期・乳幼児期・ 幼児期・学童期			1時間
14	1.生物学的要因			1時間
15	2.心理的要因			1時間
	3.社会文化的要因			1時間
	4.環境的要因			1時間
	5.政治経済的要因			1時間
16				1時間
17	■「安全な環境を維持すること」とその影響要因:思春期・青年期・成 人期・老年期			1時間
18	1.生物学的要因			1時間
19	2.心理的要因			1時間
20	3.社会文化的要因			1時間
21	4.環境的要因			1時間
22	5.政治経済的要因			1時間
22	■「安全な環境を維持すること」とその影響要因:まとめ	1時間		
23	■「体温を調節すること」とその影響要因:思春期・青年期・成人期・ 老年期	1時間		
24	1.生物学的要因	1時間		
	2.心理的要因	1時間		
	3.社会文化的要因	1時間		
	4.環境的要因	1時間		
	5.政治経済的要因	1時間		
25	■「体温を調節すること」とその影響要因:まとめ	1時間		
使用 テキスト	1.川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン 2.坂井建夫他(2018):系統看護学講座 人体の構造と機能Ⅰ 専門基礎分野1 解剖生理学 第10版,医学書院 3.坂井 建雄 他(2023):「系統看護学講座」準拠 解剖生理学ワークブック,医学書院 4.ロイロノートスクール 5.看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ.南江堂 6.看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ.南江堂 7.看護学テキストNiCE 成人看護学 慢性期看護.南江堂			
参考図書	1.菱沼典子(2017):看護形態機能学 生活行動からみるからだ(第4版),日本看護協会出版社 2.川村雅文他(2019):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学②,医学書院 3.吉田俊子他(2019):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③,医学書院 4.矢永勝彦他(2017):系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論,医学書院 5.北島政樹他(2017):系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論,医学書院			
教員に対する 質問方法	田村葉子:y_tamura@kyotokango.ac.jp 吉田乃里子:n_yoshida@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤:連絡可能なメールアドレスor教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)			

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
人間と生活行動5		BNNHU06L24	202220305	2前	2(30)	必修
担当教員	◎三林 聖司		実務歴	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
概要	人間の生活行動のライフスパンを通じた「 仕事をし、遊ぶこと 」「 セクシュアリティを表現すること 」について、学修する。 また、それらの生活行動への影響要因である 生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因 についても学修する。					
到達目標	1. 生活行動である「仕事をし、遊ぶこと」の概要を述べるができる。 2. 生活行動である「セクシュアリティを表現すること」の概要を述べるができる。 3. 生活行動「仕事をし、遊ぶこと」に影響を与える要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)について説明できる。 4. 生活行動「セクシュアリティを表現すること」に影響を与える要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)について説明できる。					
関連科目	ライフスパンと人間発達、人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	60	到達目標1-15% 到達目標2-15% 到達目標3-15% 到達目標4-15%		定期試験後のレビューで説明する	
	課題	40	到達目標1-10% 到達目標2-10% 到達目標3-10% 到達目標4-10%		課題を返却する 授業で説明する	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション ・本科目の位置づけと学修内容 ・「仕事をし、遊ぶこと」とは			【予習】シラバスを読む。仕事や遊びについて自分の考えをまとめる。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
2	「セクシュアリティを表現する」とは			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
3	セクシュアリティを表現することと影響要因 生物学的要因・心理的要因 第二次性徴			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
4	セクシュアリティを表現することと影響要因 社会文化的要因 ジェンダー			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
5	セクシュアリティを表現することと影響要因 環境的要因・政治経済的要因			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
6	「セクシュアリティを表現すること」のまとめ			【予習】これまでの授業資料を読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
7	ライフスパンを通じた「遊ぶ」という生活行動			【予習】テキストを読む。P367-369 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間

8	乳児期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(見る・聴く)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
9	幼児期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(見る・聴く)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
10	学童期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(見る・聴く)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
11	乳児期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(話す・動く)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
12	幼児期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(話す・動く)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
13	学童期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(話す・動く)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
14	乳児期から幼児期前期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(食べる・排泄する)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
15	幼児期後期から学童期における「遊ぶこと」に関わる生活行動(食べる・排泄する)への生物学的要因	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・坂井建夫他(2022):系統看護学講座専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能[1], 医学書院. ・川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン ・奈良間美保他(2022):系統看護学講座専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院. ・奈良間美保他(2022):系統看護学講座専門分野 小児看護学[2]小児臨床看護各論,医学書院. ・武井麻子(監):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎,医学書院 ・武井麻子(監):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院 		
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・坂井建夫他(2022):系統看護学講座専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能[1], 医学書院. ・森恵美他(2021):系統看護学講座専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論, 医学書院. ・浅野みどり(2020):根拠と事故防止からみた小児看護技術第3版. 医学書院. ・渋谷智子(2018):ヤングケアラー—介護を担う子どもと若者の現実—. 中央新書. ・富田直(2022):みんなのできる医療的ケア児サポートBook. 照林社. 		
教員に対する 質問方法	<p>三林聖司 メールアドレス:s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認</p>		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
人間と生活行動6 (生まれること・死にゆくこと 前)		BNNHU07L25	202220306	2後(7T)	1(15)	必修
担当教員		実務歴				
概要	人間の生活行動における「生まれること、生命を育むこと」について、ライフサイクル別に、5つの影響要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)および生活の個別性の視点から学修する。					
到達目標	1. 「生まれること、生命を育むこと」に関連する、社会の現状と法制度について説明できる。 2. 「生まれること、生命を育むこと」に関連する、男女の生殖器の形態・機能について説明できる。 3. 「生まれること、生命を育むこと」について、マタニティサイクル各期(胎児期、新生児期、妊娠期、分娩期、産褥期)の対象者と家族の特徴を5つの影響要因の視点から説明できる。					
関連科目	生活行動逸脱看護6、生活行動看護演習6					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80%	到達目標1-10% 到達目標2-20% 到達目標3-50%	定期試験後のレビュー		
	課題	20%	到達目標1-5% 到達目標2-5% 到達目標3-10%	各講義時間		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1 0.5限	ガイダンス :RLT生活行動モデルと「生まれること、生命を育むこと」			※別紙参照 【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習1時間 復習1時間
2	「生まれること、生命を育むこと」を取り巻く社会の現状 :母子保健統計、法制度			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
3	「生まれること、生命を育むこと」に関する男女の影響要因 :セクシャリティ、男性・女性の生殖器の形態と機能			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
4	「生まれること、生命を育むこと」とその影響要因(妊娠期) :妊娠期、胎児期の生理的変化			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
5				【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習3時間
6	「生命を育むこと」とその影響要因(分娩期) :分娩期の生理的変化			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
7	「生命を育むこと」とその影響要因(産褥期) :産褥期の生理的変化			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
8	「生まれること」とその影響要因(新生児期) :新生児期の生理的変化			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
使用テキスト	1. 森恵美他.(2021). 系統看護学講座専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 第14版, 医学書院 2. 大平光子他.(2022). 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改定第3版, 南江堂. 3. 坂井健夫他.(2022). 系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能[1]専門基礎分野1 解剖生理学 第11版, 医学書院					

参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 森恵美他.(2021). 系統看護学講座専門分野 母性看護学[2]母性看護学各論 第14版, 医学書院 2. 末岡浩他.(2019). 系統看護学講座専門分野 成人看護学[9]女性生殖器 第15版, 医学書院 3. 医療情報科学研究所編.(2018). 病気がみえるvol.10産科 第4版, メディックメディア 4. 川島みどり監訳.(2006). ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開, エルゼビア・ジャパン 5. 坂井建雄他(2022). 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック, 医学書院
教員に対する質問方法	<p>常勤:メールアドレス:〇〇@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認</p> <p>非常勤:連絡可能なメールアドレスor教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)</p>

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
人間と生活行動7(死にゆくこと)		BNNHU08L26	202220307	2後(7T)	1(15)	必修
担当教員	◎ 中村 正子		実務歴	有	看護師として病院に10年/訪問看護師として2年間勤務	
担当教員	門田 典子		実務歴	有	看護師として病院に19年勤務	
概要	看護実践の目的は、個々の人間のライフスパンを背景に、人間の最期の生活行動である死に関連する事象に対し、生きることを支える建設的な対処を可能にすることである。 本講は、「最期の生活行動を支援する」視点から、生活行動への影響要因である生物学的要因(人体の構造・機能)、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因と看護実践について学修する。					
到達目標	ライフスパンを通じた最期の生活行動と、生活行動への影響要因である生物学的要因(人体の構造・機能)について説明できる。					
関連科目	人間と生活行動1から7 生活行動逸脱看護1から7 生活行動看護演習1から7					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	70	70%	試験レビューで説明する		
	課題の取り組み・確認テスト・レポート	30	30%	講義内および試験レビューで説明する		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間	
1	ガイダンス カリキュラムにおける本科目の位置づけ		【予習】シラバスを読む。 【復習】指示された事後課題を行う。(レポート①)		予習2時間 復習2時間	
2	ライフスパンを通じた最期の生活行動と生物学的要因 行動における神経系の各部位の機能とその喪失		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。 【復習】指示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間	
3	ライフスパンを通じた「動くこと」の依存への移行と生物学的要因		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。【復習】指示された事後課題を行う(レポート②)		予習2時間 復習2時間	
4	ライフスパンを通じた「食べること/飲むこと」の依存への移行と生物学的要因		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。 【復習】指示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間	
5	ライフスパンを通じた「排泄すること」の依存への移行と生物学的要因		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。 【復習】指示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間	
6	ライフスパンを通じた「コミュニケーション」の依存への移行と生物学的要因		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。 【復習】指示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間	
7	ライフスパンを通じた「呼吸すること/体温を調節すること」の依存への移行と生物学的要因		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。 【復習】指示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間	
8	ライフスパンを通じた最期の人間の生活行動と生物学的要因 まとめ		【予習】テキストを読む。指示された事前学習を行う。【復習】指示された事後課題を行う。(レポート③)		予習1時間 復習1時間	
使用テキスト	①川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開, エルゼピア・ジャパン ②系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 ③系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック					
参考図書	授業中に紹介する					
質問方法	中村正子:m_nakamura@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:HPを確認 門田典子:n_kadota@kyotokango.ac.jp					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
臨床心理学		BNNSB2L17	20304	2前(6T)	1(15)	選択
担当教員	樋口 智嘉子					
概要	臨床心理士が、実際の臨床現場でどのような仕事をしているか、どのような視点で患者を理解し関わっているのか、その一端を知り、看護活動において役に立つような 患者理解 の基礎となっている感覚を身につける。また、 心理アセスメント、心理検査、心理療法 などについて幅広く学ぶ。					
到達目標	1) 患者理解の基礎となる感覚を身につける。 2) 心理学的アセスメント、心理療法についての考え方を理解し、その方法について知る。 3) 臨床心理士が臨床の現場でどのような仕事をしているか、その一端を知る。					
関連科目	人間関係の心理学、病理学、生化学、クリティカルシンキング					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	70%		定期試験後に全体的な解説やポイントを掲示		
	授業参画・小レポート	30%		授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出し、次の授業でレポートの中で重要なコメント、質問などについて解説		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	心理学的アセスメント (観察法・面接法・心理検査法)	(復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			復習2時間	
2	心理学的アセスメント (心理検査法)	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
3	様々なカウンセリングの理論 傾聴のロールプレー	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
4	様々なカウンセリングの理論 (傾聴のロールプレーつづき) 傾聴・来談者中心療法について	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
5	様々なカウンセリングの理論 認知行動療法について	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
6	様々なカウンセリングの理論 精神分析的な心理療法について	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
7	様々なカウンセリングの理論 グループアプローチ	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
8	医療従事者の精神衛生について・まとめ	(予習)前回の提出してもらったレポートの中から重要なコメント、質問などをまとめたものを配るので目を通しておく (復習)授業で学んだことについて感想や質問を書いて提出する			予習2時間 復習2時間	
使用テキスト	プリントを配布					
参考図書	1武井麻子、精神看護学ノート 医学書院 2武井麻子 精神看護学[1]精神看護の基礎 第5版(系統看護学講座 専門分野) 医学書院 3武井麻子 精神看護学[2]精神看護の展開 第5版(系統看護学講座 専門分野) 医学書院 4丹野義彦他 臨床心理学 有斐閣 5武井麻子 グループという方法 医学書院					
教員に対する質問方法	教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
臨床推論		BNNHN06L03	202240103	2前	1(30)	必修
担当教員	◎津波古 澄子		実務歴	有		
担当教員	田村 葉子		実務歴	有		
概要	看護職には、患者の訴えや症状をはじめとする情報から予測や仮説を設定し、体系的・分析的アプローチで診断する思考過程である「臨床推論」の能力が必要である。看護実践に必要な臨床推論の諸相(演繹法、帰納法、類推など)を理解し、紙上事例を用いて根拠に基づいた考え方の理解を深める。					
到達目標	1) 看護実践に必要なクリティカルシンキングと推論過程を理解できる 2) 推論の諸相(演繹、帰納、類推、価値判断など)を理解できる 3) 演繹的アプローチとして、コンセプトに基づく学習の方法を修得できる					
関連科目	看護学原論・看護現象と看護理論・各臨床地実習・課題探求Ⅱ					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	筆記試験	60%	目標1~4	レビュー動画		
	課題	30%	目標1~4	コメントを記載し課題を返却する		
	グループワーク	10%	目標1~4	授業時に説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	日程	学修内容		予習・復習内容		取組時間
1	6/11 4限	オリエンテーション 1. 看護実践に必要なクリティカルシンキングと推論過程・推論の諸相①演繹 ②帰納 ③その他		(配布資料)基盤となる思考:クリティカルシンキング(メタ認知的思考と推論を含む)		予習0.5時間 復習0.5時間
2	6/18 4限	2. 看護実践に導く推論・臨床推論の基本		6/18(火)4限に課題の提出		予習0.5時間 復習0.5時間
3	6/25 4限	3. 演繹的アプローチ ・ケアの基本「呼吸」の事例演習①		授業内に提示		予習0.5時間 復習0.5時間
4	7/2 4限	4. 演繹的アプローチ ・ケアの基本「呼吸」の事例演習②		授業内に提示		予習0.5時間 復習0.5時間
5	7/16 4限	5. 演繹的アプローチ ・ケアの基本「循環」の事例演習①		授業内に提示		予習0.5時間 復習0.5時間
6	7/23 4限	6. 演繹的アプローチ ・ケアの基本「循環」の事例演習②		授業内に提示		予習0.5時間 復習0.5時間
7	7/30 4限	7. 複合的疾患の事例 ・「呼吸」「循環」の複合的事例演習		授業内に提示		予習0.5時間 復習0.5時間
8	8/6 4限	8. 複合的疾患の事例検討 ・臨床推論のまとめ		授業内に提示		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	楠見孝・子安増生・道田泰司(2012) クリティカルシンキング:情報を吟味・理解する力を鍛える, ベネッセ・キャリア.					
参考図書	・道又元裕監修(2023) 看護学生のための臨床判断に必要な臨床推論, ヴェクソンインターナショナル. ・山内豊明(2023) バイタルサインからの臨床推論, 医学書院					
教員に対する質問方法	津波古澄子 メールアドレス s_tshako@kyotokango.ac.jp 田村葉子 メールアドレス y_tamura@kyotokango.ac.jp					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護過程論1		BNNHN06L04	202240104	2前	1(15)	必修
担当教員	◎宇野真由美		実務歴	有	看護師として病院に7年勤務	
概要	<p>看護師が看護過程を用いる意義を学ぶ。看護の対象となる人々の健康問題に対する人間の反応をアセスメントし、個別性のある看護介入、評価を論理的に言語化することを学ぶ。</p> <p>本科目は看護過程の展開技術として、既習の看護学原論、人間と生活行動、臨床推論、看護倫理を基に統合的理解をし、後期の看護過程論演習で具体的に思考し、表現するための基礎的知識を修得する。</p> <p>看護過程展開の思考の技術で智をいつくしむ力を身につけると共に、全人的理解と高い倫理観のもとに人・命をいつくしむ、臨床実践のための基礎的思考を身につける。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護師が看護過程を用いることと思考法の意義を説明できる。 2.倫理的、人権擁護の視点から、看護過程展開のための情報の扱いについて説明ができる。 3.看護過程の各段階における視点・観察・具体的な方法の導き方が説明できる。 4.看護過程の各段階で導き出した視点・観察・具体的な方法の一貫性が説明できる。 5.看護過程の各段階で導き出した視点・観察・具体的な方法の評価方法とタイミングが説明できる。 					
関連科目	看護学原論、人間と生活行動1, 2, 3, 4、医療・看護倫理、生活行動看護演習1, 2, 3, 4、臨床推論、(クリティカルシンキング)、(臨床人間学)、看護過程論2、看護過程論演習、生活行動看護実習1、生活行動看護実習2					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	100%	到達目標1: 20% 到達目標2: 20% 到達目標3: 20% 到達目標4: 20% 到達目標5: 20%		定期試験後のレビューで説明	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス 看護過程の基本、看護過程を用いる意義 ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデル			【予習】 シラバスの内容を把握する。 指定教科書に目を通し、用語の理解をする。看護学原論から「看護の対象」、「看護とは」についてまとめておく。指定教科書p3-28 【復習】 授業時に課題を提示する。		予習復習 2時間
2	看護過程の構成要素 倫理的、人権擁護の視点に基づく情報の取り扱い			【予習】 看護職の倫理綱領、保健師助産師看護師法に基づく情報の取り扱い、看護学実習要綱 指定教科書p29-53 【復習】 授業時に課題を提示する。		予習復習 2時間
3	看護の主要概念(京都看護大学)とローパーらの生活行動看護モデル、看護場面における情報、情報収集とアセスメント			【予習】 第1回、2回の振り返りをしておく 【復習】 授業時に課題を提示する。		予習復習 2時間
4	アセスメントの整理			【予習】 前回授業時に指示された課題 【復習】 授業時に課題を提示する。		予習復習 2時間

5	問題の明確化	【予習】 前回授業時に指示された課題 【復習】 授業時に課題を提示する。	予習復習 2時間
6	看護上の問題に基づく看護計画	【予習】 前回授業時に指示された課題 【復習】 授業時に課題を提示する。	予習復習 2時間
7	看護計画の具体化	【予習】 前回授業時に指示された課題 【復習】 授業時に課題を提示する。	予習復習 2時間
8	看護計画に基づく実施の評価の視点	【予習】 前回授業時に指示された課題 【復習】 授業で学んだこと全てを見直しておく	予習復習 2時間
使用 テキスト	川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン		
参考図書	適宜、紹介する		
教員に対する質 問方法	メールアドレス:m_uno@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認		

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
看護過程論2	BNNHN06L05	202240105	2前	1(15)	必須	
担当教員	◎宇野 真由美	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務		
概要	看護過程論2では、「看護過程論1」での学びをグループで協働しながら実践的に発展させる。看護過程の展開を通じた表現、フィードバックを自己に取り入れ応用する学びを身につける。 これらの経験を生活行動看護実習2の基盤とする。 看護診断の基礎的理解と一般的な活用方法について理解する。					
到達目標	1.看護診断の基礎的理解ができる。 2.倫理的、人権擁護の視点から、看護過程展開のための情報の扱いについて説明ができる。 3.看護過程の各段階における視点・観察・具体的な方法の導き方が説明できる。 4.看護過程の各段階で導き出した視点・観察・具体的な方法の一貫性が説明できる。 5.看護過程の各段階で導き出した視点・観察・具体的な方法の評価方法とタイミングが説明できる。					
関連科目	看護学原論、人間と生活行動1, 2, 3, 4, 医療・看護倫理、生活行動看護演習1, 2, 3, 4, 臨床推論、(クリティカルシンキング)、(臨床人間学)、看護過程論1、看護過程論演習、生活行動看護実習1、生活行動看護実習2					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	看護過程論2 ワークノートの提出	100	到達目標1～5 各20%	課題提出後にコメントする クラス全体に総評する		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	ガイダンス、看護過程の実際について問題に気づき、解決する方法	【予習】シラバスの内容を把握する、看護過程論1の振り返りしておく 【復習】授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
2	職業倫理と人権擁護に基づく情報の収集	【予習】看護過程論1の振り返りしておく 【復習】授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
3	事例に基づく情報収集とアセスメント	【予習】看護過程論1の振り返りしておく 【復習】授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
4	事例に基づくアセスメントの整理	【予習】看護過程論1の振り返りしておく 【復習】授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
5	事例に基づく問題の明確化	【予習】看護過程論1の振り返りしておく 【復習】授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
6	事例に基づく看護計画の立案	【予習】看護過程論1の振り返りしておく 【復習】授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
7	看護診断とは	【予習】事前に指示する。授業時に課題を提示する。			予習復習 2時間	
8	NANDA-I 看護診断分類法	【予習】事前に指示をする。 【復習】授業で学んだこと全てを見直しておく			予習復習 2時間	
使用テキスト	川島みどり監訳(2006):ローバー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン					
参考図書	適宜、紹介する					
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:m_uno@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護過程論演習		BNNHN07L06	202240106	2(後)	2(30)	必修
担当教員	◎宇野 真由美		実務歴	有	看護師として病院に7年勤務	
概要	<p>グループで協調し主体的に学び合う姿勢を培う。紙上事例をもとに人間の反応をとらえ、全人的理解と高い倫理観を基に科学的な思考をもって、個性のある看護計画、具体的な実施方法、評価の一連の看護過程の展開を実践する。</p> <p>演習を進める中で不明な点に気づき、明確化し、疑問をグループ内あるいは担当教員へ質問することにより解消する。看護過程の展開を通し、グループで思考を共有し、フィードバックを自己に取り入れ応用する学びを身につける。</p> <p>これらの学びを生活行動看護実習2の基盤とする。</p>					
到達目標	<p>事例患者の一連の看護過程の展開の思考ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事例に基づき、必要な疾患や看護の学修を自ら見出し準備をすることができる。 2. 事例に基づき電子カルテから十分な情報を得ることができる。 3. 事例に基づきローバーの生活行動の視点から情報を整理し、これまでの生活との違いを述べることができる。 4. 事例に基づき、患者像を描くことができる。 5. 事例に基づき、看護看護上の問題を抽出することができる。 6. 事例に基づき、看護上の問題とした優先順位を述べるができる。 7. 事例に基づき、看護上の問題とした根拠を述べるができる。 8. 事例に基づき、計画の立案を述べるができる。 9. 看護計画に基づき、具体的な実施方法を述べるができる。 10. 看護計画に基づき評価の視点を述べるができる。 					
関連科目	看護学原論、人間と生活行動1, 2, 3, 4、医療・看護倫理、生活行動看護演習1, 2, 3, 4、薬理学、生化学、病理学、臨床推論、看護過程論1、看護過程論2、生活行動看護実習2					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	看護過程論演習記録の提出	100	到達目標1~10各10%	課題提出後にコメントする クラス全体に総評する		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス 事例の紹介、事例から必要な学習を見出す 電子カルテからの情報収集			【予習】 シラバスの内容を把握する、看護過程論1、2の振り返りしておく 【復習】 授業時に課題を提示する。		1時間
2	看護過程の展開:情報収集、アセスメント			【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する		1時間
3	看護過程の展開:情報収集、アセスメント			【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する		1時間
4	看護過程の展開:情報収集、アセスメント			【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する		1時間
5	看護過程の展開:看護上の問題			【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する		1時間
6	看護過程の展開:看護上の問題			【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する		1時間
7	看護過程の展開:看護計画の立案			【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する		1時間

8	看護過程の展開:看護計画の立案	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
9	看護過程の展開:看護計画の立案	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
10	看護過程の展開:カンファレンスによる看護計画の発表	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
11	看護過程の展開:行動の具体化	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
12	看護過程の展開:行動の具体化	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
13	看護過程の展開:行動の具体化	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
14	看護過程の展開:実施評価	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
15	看護計画の評価、振り返り、評価表の提出	【予習】事前に指示をする 【復習】授業時に指示する	1時間
使用 テキスト	川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン		
参考図書	適宜、紹介する		
教員に対する質 問方法	常勤:メールアドレス:m_uno@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
国際看護論		BNNHN08L19	202240303	2前	1(15)	必修
担当教員	磯邊厚子	実務歴	有	看護師として国際看護に10年		
概要	看護の対象を国境を越えた広域で生活する人ととらえ、様々な国や地域、文化圏に属する人々の健康について考究する。社会のグローバル化に伴い、対象者の多様な価値観や文化的背景を尊重した関わりが重要になっている中、健康課題に影響を与える環境とその背景をとらえ、必要な看護を考察する。また、国内における国際化にも目を向けながら、現代社会における看護の課題と展望を探求していく。					
到達目標	1. 看護を実践する上で国際的な視野をもつことの必要性を述べることができる。 2. 世界規模の健康課題に対する基本概念を説明できる。 3. 多様な社会・文化的背景を持つ対象者への看護のあり方を説明できる。 4. グローバルかつローカルな視点で他者との意見交換や自ら発問し、学習探求ができる					
関連科目	公衆衛生学、公衆衛生看護学、保健統計学入門、情報リテラシー、災害看護論、社会学、基礎・中級・上級英語、医学看護英語リーディング、看護キャリア開発論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1-10% 到達目標2-15% 到達目標3-20% 到達目標4-15%	1) 定期試験後のレビューで説明		
	課題 授業への参加	40%	到達目標1-5% 到達目標2-10% 到達目標3.4-25% (中間課題10%、事後課題15%)	2) レポート:コメントを記載し返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間	
1	国際看護学の基本概念:グローバルナースィングとは、健康とは、看護とは 世界規模の健康課題への取組み"Think Globally,Act Locally"の概念「世界規模で考え足元から行動せよ、広い視野をもって地道に活動せよ、抽象的な思考を具現化せよ、世界の現実をふまえて地域活動に参画せよ」の視点 健康課題に取り組む国際機関 (UNDP,UNICEF,WHO,UNHCR,ODA,NGO,他)		【予習】p.4~26、58~69、75~78、96~100を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間	
2	看護活動の場と対象ー保健医療システムと多様な視点での看護職の役割		【予習】p.80~94、136~138、189~205及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間	
3	女性と子どもの健康課題ー母子保健・看護		【予習】p.157~161及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間	
4	感染症と看護ー治療よりも疾病予防、健康教育		【予習】p.64~69、128~130、152~156、172~177、183~188及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間	
5	グローバルな課題と国際的人材ーUNHCR難民支援/NGO医療支援他		【予習】p.162~171及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間	
6	在日外国人への医療支援ー言語/制度/文化の壁への対応		【予習】p.117~121、208~215及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間	

7	アメリカ・オーストラリアにおける看護師資格とキャリアパス	【予習】p.224～238及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う	予習2時間 復習2時間
8	海外での看護活動ーJICA海外協力隊と看護職者の役割	【予習】p.28～56、189～195及び資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う	予習1時間 復習1時間
使用テキスト	森淑江他編集. 国際看護: 国際社会の中で看護の力を発揮するために. 南江堂(最新版)		
参考図書	1.国際看護交流協会(2010). NURSING IN THE WORLD 5th. 2.UNDP 国連開発計画. 人間開発報告書(全年) 3.M.レイニンガー石井邦子訳(1995). レイニンガー看護論ー文化ケアの多様性と普遍性. 医学書院 4.JOCV看護職ネットワーク(2003). 世界を翔けたナースたち. 社団法人青年海外協力協会 5.国立研究開発法人国立国際医療研究センター(2020). 世界の看護2020(日本語版)		
教員に対する質問方法	メールアドレス: a_isobe@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
国際看護論実習	BNNHN08P20	202240304	2(後)	1(30)	選択	
担当教員	磯邊厚子	実務歴	有	看護師として国際看護に10年		
概要	国際看護論での学びをもとに、異文化圏で暮らす人々への看護実践に触れることを通して、その背景にある保健医療システム、人々が抱く健康の概念や保健行動などについての考察を深め、多文化共生社会における自己の看護観を発展させることを目指す。					
到達目標 成績評価 学修内容	実習要綱参照					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動逸脱看護4(生命を維持すること)		BNNHN05L27	202240404	2前(5T)	2(15)	必修
担当教員	◎田村 葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
	三林 聖司		有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
	中森 美季		有	看護師として病院に5年勤務		
	川嶋 元子		有	看護師として病院に勤務		
	岸 正			(薬理学)		
概要	人間と生活行動4の学修を基盤に、「呼吸すること・体温を調節すること・安全な環境を維持すること」という生活行動の依存状態について学修する。ライフスパン、および生物学的、心理的、社会文化的、環境的要因から理解を深め、個々の人間が生命体として持つ力を最大限に発揮してこの生活行動を営めるようになるための看護について学ぶ。					
到達目標	1.「呼吸すること」が逸脱する状況について、各ライフスパンの特徴を踏まえて、生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済学的要因から説明できる。 2.「呼吸すること」が逸脱する状況に対して、対象の持つ力を最大限に発揮できる支援について説明できる。 3.「体温を調節すること」が逸脱する状況について、各ライフスパンの特徴を踏まえて、生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済学的要因から説明できる。 4.「体温を調節すること」が逸脱する状況に対して、対象の持つ力を最大限に発揮できる支援について説明できる。 5.「安全な環境を維持すること」が逸脱する状況について、各ライフスパンの特徴を踏まえて、生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済学的要因から説明できる。 6.「安全な環境を維持すること」が逸脱する状況に対して、対象の持つ力を最大限に発揮できる支援について説明できる。					
関連科目	看護学原論、ライフスパンと人間発達、人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7、生活行動看護実習1.2					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対しての評価基準等		評価に対するフィードバック	
	定期試験	60	到達目標1…15% 到達目標2…10% 到達目標3…5% 到達目標4…5% 到達目標5…15% 到達目標6…10%		定期試験後のレビュー	
	事前事後学修課題	40	到達目標1…10% 到達目標2…5% 到達目標3…5% 到達目標4…5% 到達目標5…10% 到達目標6…5%		各講義時間	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践
回	学修内容			予習内容	復習内容	取組時間
1	■ガイダンス ■「呼吸すること」「体温を維持すること」「安全な環境を維持すること」が逸脱した状態とは		具体例)	提示された事前課題を行う(別途課題を提示します)	提示された事後課題を行う(別途課題を提示します)	1時間

2	<p>■「呼吸すること」「体温を維持すること」「安全な環境を維持すること」が逸脱した人の看護 :胎児期・乳幼児期・幼児期・学童期</p> <p>1.生物学的要因:代表的な症状・疾患/関連する検査・治療と看護</p> <p>2.心理的・社会文化的・環境的・政治経済的要因</p>	RSウイルス・ファロウ四徴症・熱性けいれん	提示された事前課題を行う(別途課題を提示します)	提示された事後課題を行う(別途課題を提示します)	1時間
3					1時間
4	<p>■「呼吸すること」「体温を維持すること」「安全な環境を維持すること」が逸脱した人の看護④</p> <p>1.生物学的要因:代表的な症状・疾患</p>	PTSD、不安障害、ストレス			1時間
5					1時間
6	<p>■「呼吸すること」「体温を維持すること」「安全な環境を維持すること」が逸脱した人の看護①</p> <p>:成人期・老年期</p> <p>1.生物学的要因:代表的な症状・疾患/関連する検査・治療と看護</p> <p>2.心理的・社会文化的・環境的・政治経済的要因</p>	急性呼吸不全 急性心不全 急性腎不全			1時間
7					1時間
8					1時間
9	<p>■「呼吸すること」「体温を維持すること」「安全な環境を維持すること」が逸脱した人の看護②</p> <p>:成人期・老年期</p> <p>1.生物学的要因:代表的な症状・疾患/関連する検査・治療と看護</p> <p>2.心理的・社会文化的・環境的・政治経済的要因</p>	呼吸不全 心不全 腎不全の回復期			1時間
10					1時間
11					1時間
12	<p>■「呼吸すること」「体温を維持すること」「安全な環境を維持すること」が逸脱した人の看護③</p> <p>:成人期・老年期</p> <p>1.生物学的要因:代表的な症状・疾患/関連する検査・治療と看護</p> <p>2.心理的・社会文化的・環境的・政治経済的要因</p>	呼吸不全 心不全 腎不全の慢性期			1時間
13					1時間
14					1時間
15	■薬理学(利尿薬・降圧剤)				1時間
使用テキスト	<p>1.川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン</p> <p>2.坂井建夫他(2018):系統看護学講座 人体の構造と機能 I 専門基礎分野1 解剖生理学 第10版,医学書院</p> <p>3.坂井 建雄 他(2023):「系統看護学講座」準拠 解剖生理学ワークブック,医学書院</p> <p>4.ロイロノートスクール</p> <p>5.看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅰ.南江堂</p> <p>6.看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅱ.南江堂</p> <p>7.看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護.南江堂</p>				
参考図書	<p>1.菱沼典子(2017):看護形態機能学 生活行動からみるからだ(第4版),日本看護協会出版社</p> <p>2.川村雅文他(2019):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学②,医学書院</p> <p>3.吉田俊子他(2019):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③,医学書院</p> <p>4.矢永勝彦他(2017):系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論,医学書院</p> <p>5.北島政樹他(2017):系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論,医学書院</p>				
教員に対する質問方法	<p>田村葉子:y_tamura@kyotokango.ac.jp</p> <p>オフィスアワー 在校生HPを確認</p> <p>非常勤:連絡可能なメールアドレスor教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)</p>				

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動逸脱看護5		BNNHN06L28	202240405	2前	1(15)	必修
担当教員	◎三林 聖司	実務歴	准看護師・看護師として病院に22年勤務			
	山岸 若菜	実務歴				
概要	人間と生活行動5の学修を基盤とし、「仕事をし、遊ぶこと」「セクシュアリティを表現すること」という生活行動の逸脱状態について学修する。ライフスパン及び生物学的、心理的、社会文化的、環境的要因から理解を深め、個々の人間が生命体として持てる力を最大限に発揮して、この生活行動を営めるようになるための看護について学修する。					
到達目標	1. 生活行動である「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱した状況にある人やその家族への看護について説明できる。 2. 生活行動である「セクシュアリティを表現すること」が逸脱した状況にある人やその家族への看護について説明できる。					
関連科目	ライフスパンと人間発達、人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80	到達目標1-40% 到達目標2-40%	定期試験後のレビューで説明する		
	課題	20	到達目標1-10% 到達目標2-10%	課題を返却する 授業で説明する		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション ・本科目の位置づけと学修内容「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 発達障害 発達検査			【予習】シラバス・テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
2	「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 気管支喘息			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
3	「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 食物アレルギー			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
4	「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 1型糖尿病			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
5	「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 川崎病			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
6	「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 扁桃摘出術を受ける子どもへの看護			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
7	「仕事をし、遊ぶこと」が逸脱している子どもや家族への看護 扁桃摘出術を受ける子どもへの看護			【予習】これまでの授業資料を読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
8	「セクシュアリティを表現すること」が逸脱している人への看護 パーソナリティ障害 性別違和			【予習】シラバスを読む。人間と生活行動5を復習しておく。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間

<p>使用 テキスト</p>	<p>・川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン ・奈良間美保他(2022):系統看護学講座専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論. 医学書院. ・奈良間美保他(2022):系統看護学講座専門分野 小児看護学[2]小児臨床看護各論.医学書院. ・武井麻子(監):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 ・武井麻子(監):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院</p>
<p>参考図書</p>	<p>・坂井建夫他(2022):系統看護学講座専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能[1], 医学書院. ・浅野みどり(2020):根拠と事故防止からみた小児看護技術第3版. 医学書院. ・山元恵子, 佐々木祥子(2020). 新訂版 写真でわかる小児看護技術 アドバンス, インターメディカ.</p>
<p>教員に対する 質問方法</p>	<p>三林聖司 メールアドレス:s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認</p>

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動逸脱看護6 (生まれること・死にゆくこと 前)		BNNHN07L29	202240406	2後(7T)	2(30)	必修
担当教員		実務歴				
概要	人間の生活行動における「 生まれること、生命を育むこと 」に関する 逸脱状態 について学修する。また、逸脱の有無に関わらず 対象者が持っている強みを活かして、今ある良い状態よりもさらに高いレベルの生活機能を獲得できるような支援 について、ライフサイクル別に、5つの影響要因(生物学的要因、心理的要因、社会文化的要因、環境的要因、政治経済的要因)、依存-自立度、生活の個別性、ウェルネスの視点から学修する。					
到達目標	1.「生命を育むこと」について、ライフサイクル各期(思春期、性成熟期、更年期、老年期)の対象者と家族の逸脱状態および必要な看護を5つの影響要因、依存-自立度、生活の個別性の視点から説明できる。 2.「生まれること、生命を育むこと」について、マタニティサイクル各期(胎児期、新生児期、妊娠期、分娩期、産褥期)の対象者と家族の逸脱状態および必要な看護を5つの影響要因、依存-自立度、生活の個別性の視点から説明できる。					
関連科目	人間と生活行動6、生活行動看護演習6					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80%	到達目標1-20% 到達目標2-60%	定期試験後のレビュー		
	課題	20%	到達目標1-5% 到達目標2-15%	各講義時間		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	「生命を育むこと」に関する逸脱状態と看護 :女性のライフサイクル各期の健康課題と看護 (月経異常、性感染症、不妊、更年期障害 など)			※別紙参照 【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
2				【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
3	「生まれること、生命を育むこと」への支援 :妊娠期、胎児期の看護 (妊婦健康診査、妊娠期の健康教育)			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
4				【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
5	「生命を育むこと」に関する逸脱状態と看護 :妊娠期の逸脱、看護 (妊娠性貧血、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病 など)			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
6	「生命を育むこと」への支援 :分娩期の看護			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間
7	「生命を育むこと」に関する逸脱状態と看護 :分娩期の逸脱、看護 (胎児機能不全、分娩時異常出血 など)			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習3時間
8	「生命を育むこと」への支援 :産褥期の看護			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間

9	「生命を育むこと」に関する逸脱状態と看護 :産褥期の逸脱、看護 (子宮復古不全、乳腺炎、周産期うつ病 など)	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
10	「生まれること」への支援 :新生児期の看護	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
11		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
12	「生まれること」に関する逸脱状態と看護 :新生児期の逸脱、看護 (呼吸障害、高ビリルビン血症 など)	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
13	「生まれること、生命を育むこと」に関する逸脱状態と看護 :帝王切開術による分娩、看護	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
14		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
15	「生まれること、生命を育むことへの看護」 :まとめ	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	1. 森恵美他.(2021). 系統看護学講座専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 第14版, 医学書院 2. 大平光子他.(2022). 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改定第3版, 南江堂. 3. 坂井健夫他.(2022). 系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 専門基礎分野1 解剖生理学 第11版, 医学書院		
参考図書	1. 森恵美他.(2021). 系統看護学講座専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 第14版, 医学書院 2. 末岡浩他.(2019). 系統看護学講座専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器 第15版, 医学書院 3. 医療情報科学研究所編.(2018). 病気がみえるvol.10産科 第4版, メディックメディア 4. 平澤美恵子.(2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス 褥婦と新生児の観察とケア、母乳育児を 理解しよう, インターメディカ 5. 中村幸代編.(2018). 根拠がわかる母性看護過程—事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画, 南江堂 6. 太田操編.(2023). ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程 第4版, 医歯薬出版株式会社 7. 川島みどり監訳.(2006). ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開, エルゼビア・ジャパ ン 8. 坂井建雄他(2022). 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック, 医学書院		
教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:〇〇@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤:連絡可能なメールアドレスor教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動逸脱看護7(死にゆくこと)		BNNHN08L30	202240407	2後(7T)	1(15)	必修
担当教員	◎ 中村 正子	実務歴	有	看護師として病院に10年/訪問看護師として2年間勤務		
担当教員	門田 典子	実務歴	有	看護師として病院に19年勤務		
概要	人間と生活行動7の学修を基盤に、エンドオブライフ期の人間の生活行動の依存状態について学修する。ライフスパン、および生物学、心理、社会文化、環境、政治経済的要因から事象に対する理解を深め、エンドオブライフ期にある人が生命体として持てる力を最大限に発揮する看護を学修する。					
到達目標	1. エンドオブライフ期の人間の生活行動の依存状態について、ライフスパン、生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済的要因から説明できる。 2. エンドオブライフ期の人間の生活行動の依存状態に対して、対象の持つ力を最大限に発揮できる看護について説明できる。					
関連科目	人間と生活行動1から7 生活行動逸脱看護1から7 生活行動看護演習1から7					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対する評価基準等		フィードバック方法	
	定期試験	70	到達目標1-35 %	2-35%	試験レビューで説明する	
	課題の取り組み・確認テスト	30	到達目標1-15 %	2-15%	講義内に説明する	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		○	ケアリングとコミュニケーション		
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間	
1	1.ガイダンス 2.エンドオブライフ期の共通理解 3.12の生活行動に影響する本科目で扱う生物学的要因		【予習】シラバスを読む。 指示された事前学修を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
2	1.「12の生活行動」に影響する生物学的要因 病例:老衰 2.「12の生活行動」の依存状態に対する看護 生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済的要因と看護		【予習】廃用症候群に関して指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
3	「12の生活行動」に影響する生物学的要因 病例(固形がん):乳がん(病態、症状、検査、治療)		【予習】指示された事前学修を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
4	「12の生活行動」に影響する生物学的要因 病例(血液がん):造血器腫瘍(病態、症状、検査、治療)		【予習】認知症に関して指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
5	エンドオブライフと薬物療法(薬理学・抗がん剤)		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
6	「動くこと」「食べること/飲むこと」「排泄すること」の依存状態に対する看護 生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済的要因と看護		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
7	「呼吸すること」の依存状態に対する看護 生物学的(呼吸困難)、心理的(呼吸困難)、社会文化的、環境的、政治経済的要因と看護		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
8	最期の生活行動への看護:まとめ		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習1時間 復習1時間	
使用テキスト	①系統看護学講座 別巻 がん看護学 ②川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開, エルゼビア・ジャパン ③任和子(最新刷):根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院 ④亀井智子(最新刷):根拠と事故防止からみた老年看護技術, 医学書院 ⑤系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 ⑥系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック ⑦系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I ⑧系統看護学講座 基礎看護学[3] 基礎看護技術 II ⑨系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 医学書院					
参考図書	授業中に紹介する					
質問方法	中村正子:m_nakamura@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:HPを確認 門田典子:n_kadota@kyotokango.ac.jp					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護演習4 (生命を維持すること)		BNNHN05E34	202240411	2前(5T)	4(30)	必修
担当教員	◎田村葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
	三林聖司		有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
	鯉坂由紀		有	看護師として病院に3年勤務		
	中森美季		有	看護師として病院に5年勤務		
概要	人間と生活行動4、および生活行動逸脱看護4の学修を基盤に、「呼吸すること・体温を調節すること・安全な環境を維持すること」という生活行動について、ライフスパン、対象者が生活するあらゆる場、から健康状態を踏まえ、安全、安楽、自立・自律を基盤に、対象者を尊重して、科学的根拠に基づいた看護の方法を創出し、実施、評価、改善する思考と実践を学ぶ。グループワークを中心に、必要な援助方法を創出し、学生同士で体験し、対象者の立場で評価を行う。					
到達目標	1.「呼吸すること」に対するフィジカルイグザミネーションが実践できる。 2.「呼吸すること」に対する看護について、安全・安楽・自立・自律をふまえて、実践、評価、改善策の考案ができる。 3.「体温を調節すること」 4.「体温を調節すること」に対する看護について、安全・安楽・自立・自律をふまえて、実践、評価、改善策の考案ができる。 5.「安全な環境を維持すること」に対するフィジカルイグザミネーションが実践できる。 6.「安全な環境を維持すること」に対する看護について、安全・安楽・自立・自律をふまえて、実践、評価、改善策の考案ができる。					
関連科目	看護学原論、ライフスパンと人間発達、人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7、生活行動看護実習1.2					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対するの評価基準等		評価に対するフィードバック	
	定期試験	60	到達目標1・・・15% 到達目標2・・・10% 到達目標3・・・5% 到達目標4・・・5% 到達目標5・・・15% 到達目標6・・・10%		定期試験後のレビュー	
事前事後 学修課題	40	到達目標1・・・10% 到達目標2・・・5% 到達目標3・・・5% 到達目標4・・・5% 到達目標5・・・10% 到達目標6・・・5%		各講義時間		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践
回	学修内容	予習内容	復習内容	取組時間		
1	■「呼吸すること」のフィジカルイグザミネーション :「呼吸すること」に関する観察	提示された事前課題を行う (別途課題を提示します)	提示された事後課題を行う (別途課題を提示します)	1時間		
2				1時間		
3	■「安全な環境を維持すること」の フィジカルイグザミネーション: 血圧、脈拍、心音			1時間		
4				1時間		
5				1時間		
6	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護演習・・・ライフスパン毎(小児) : 口腔・鼻腔吸引、プレパレーション			1時間		
7				1時間		
8				1時間		
9	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護演習 : 気管吸引、酸素吸入、酸素マスク、酸素ボンベ、ドレーン管理			1時間		
10				1時間		
11				1時間		
12				1時間		

13				1時間
14	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護演習(術後)			1時間
15				1時間
16				1時間
17				1時間
18	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護演習(活動耐性が低下した人の体位変換、移乗、移送)(清潔援助)(回復期)			1時間
19				1時間
20				1時間
21		■体温を調節することが逸脱した状況にある人の看護演習: 覆法	提示された事前課題を行う (別途課題を提示します)	提示された事後課題を行う(別途課題を提示します)
22	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護演習(こころ)	1時間		
23		1時間		
24		1時間		
25	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護演習(BLS・ALS)	1時間		
26		1時間		
27		1時間		
28	■呼吸すること、安全な環境を維持することが逸脱した状況にある人の看護(在宅におけるフィジカルアセスメント、安全管理)	1時間		
29		1時間		
30		1時間		
使用テキスト	1.川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン 2.坂井建夫他(2018):系統看護学講座 人体の構造と機能 I 専門基礎分野1 解剖生理学 第10版,医学書院 3.坂井 建雄 他(2023):「系統看護学講座」準拠 解剖生理学ワークブック,医学書院 4.ロイノートスクール 5.看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ.南江堂 6.看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ.南江堂 7.看護学テキストNiCE 成人看護学 慢性期看護,南江堂			
参考図書	1.菱沼典子(2017):看護形態機能学 生活行動からみるからだ(第4版),日本看護協会出版社 2.川村雅文他(2019):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学②,医学書院 3.吉田俊子他(2019):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③,医学書院 4.矢永勝彦他(2017):系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論,医学書院 5.北島政樹他(2017):系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論,医学書院			
教員に対する質問方法	田村葉子:y_tamura@kyotokango.ac.jp 吉田乃里子:n_yoshida@kyotokango.ac.jp 田口豊恵:t_taguchi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤:連絡可能なメールアドレスor教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)			

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護演習5		BNNHN06E35	202240412	2前	2(30)	必修
担当教員	三林 聖司	実務歴	准看護師・看護師として病院に22年勤務			
	山岸 若菜	実務歴				
概要	人間と生活行動5および生活行動逸脱看護5の学修を基盤に、「 仕事をし、遊ぶこと 」「 セクシュアリティを表現すること 」という生活行動について、ライフスパン、対象者が生活するあらゆる場、あらゆる健康状態を踏まえ、 安全、安楽、自立・自律 を基盤に、 対象者を尊重 して、科学的根拠に基づいた 看護の方法を創出し、実施、評価、改善する思考と実践 について学修する。					
到達目標	1. 仕事や遊ぶことが逸脱している人への看護について説明できる。 2. 子どもの発達段階や健康状態に応じた遊びを実践できる。 3. 精神障がい者の回復への支援を説明できる。					
関連科目	ライフスパンと人間発達、人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60	到達目標1-20% 到達目標2-20% 到達目標3-20%	定期試験後のレビューで説明する		
	課題	30	到達目標1-10% 到達目標2-10% 到達目標3-10%	課題を返却する 授業で説明する		
	グループワーク	10	到達目標1-5% 到達目標2-5%	授業で説明する		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション ・本科目の位置づけと学修内容 精神障がい者の回復の支援 リカバリ			【予習】シラバスやテキストを読む。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
2	精神障がい者の回復の支援 精神療法(個人)			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
3	精神障がい者の回復の支援 精神療法(集団)			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
4				【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
5	地域における生活支援の方法			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
6	地域におけるケアの方法と実際			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
7	学校・職場におけるこころのケア			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間
8	グループワーク導入			【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。		予習2時間 復習2時間

9	遊びの創作グループワーク/身体計測	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
10		【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
11	遊びの創作グループワークの発表	【予習】提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
12		【予習】提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
13	プレパレーショングループワーク (子どものバイタルサイン測定場面におけるプレパレーション)	【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
14		【予習】テキストを読む。 提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
15	プレパレーショングループワークの発表	【予習】提示された事前課題を行う。 【復習】提示された事後課題を行う。	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン ・奈良間美保他(2022):系統看護学講座専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論. 医学書院. ・奈良間美保他(2022):系統看護学講座専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論. 医学書院. ・浅野みどり(2020):根拠と事故防止からみた小児看護技術第3版. 医学書院. ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 ・武井麻子(監):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 ・武井麻子(監):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院 		
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・及川郁子他(2012). チームで支える! 子どものプレパレーションー子どもが「嫌」「怖い」を乗り越え,達成感を得るために. 中山書店. 		
教員に対する 質問方法	三林聖司 メールアドレス:s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護演習6 (生まれること・死にゆくこと 前)		BNNHN07E36	202240413	2後(7T)	2(30)	必修
担当教員		実務歴				
概要	人間の生活行動における「生まれること、生命を育むこと」に関して、マタニティサイクル各期の対象者の状態を適切に観察、アセスメントし、対象者が持っている強みを活かして、今ある良い状態よりもさらに高いレベルの生活機能を獲得することを目的とした看護実践方法について学修する。					
到達目標	1. 「生まれること、生命を育むこと」に関連する、マタニティサイクル各期(胎児期、新生児期、妊娠期、分娩期、産褥期)の対象者のフィジカルイグザミネーションを、演安全、安楽、自立・自律をふまえて演習で実施できる。 2. 「生まれること、生命を育むこと」について、マタニティサイクル各期(胎児期、新生児期、妊娠期、分娩期、産褥期)の対象者と家族への看護援助を、安全、安楽、自立・自律をふまえて演習で実施できる。 3. 「生まれること、生命を育むこと」に関して、産褥期、新生児期にある対象者への看護実践を評価することができる。					
関連科目	人間と生活行動6、生活行動逸脱看護6					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1-20% 到達目標2-30% 到達目標3-10%	定期試験後のレビュー		
	課題	40%	到達目標1-20% 到達目標2-10% 到達目標3-10%	各講義時間		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	「生まれること、生命を育むこと」における対象者への看護 :ウェルネス志向型によるアセスメント、看護			※別紙参照 【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習 2時間 復習 2時間
2				【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習 2時間 復習 2時間
3	「生まれること、生命を育むこと」へのフィジカルイグザミネーションと看護実践 :妊娠期、分娩期の観察、看護			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習 2時間 復習 2時間
4	(子宮底・腹囲測定、レオポルド触診法による胎位・胎向観察、胎児心音聴取、ノンストレステスト、産痛緩和)			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習 2時間 復習 2時間
5				【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習 2時間 復習 2時間
6	「生まれること、生命を育むこと」へのフィジカルイグザミネーション :妊娠期、分娩期の観察(胎児心拍数陣痛図の判読)			【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う		予習 2時間 復習 2時間

7	「生命を育むこと」へのフィジカルイグザミネーションと看護実践 ：産褥期の観察、看護 (子宮復古の観察、退行性変化を促す支援、乳頭・乳房の観察、授乳支援)	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
8		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
9		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
10		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
11	「生まれること、生命を育むこと」への看護実践 ：新生児期の観察、看護 (新生児の更衣、おむつ替え、抱っこ、清潔ケア)	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
12		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
13		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
14		【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
15	「生まれること、生命を育むこと」における対象者への看護 ：ウェルネス志向型によるアセスメント、看護まとめ	【予習】提示された事前課題を行う 【復習】提示された事後課題を行う	予習 2時間 復習 2時間
使用 テキスト	1. 森恵美他. (2021). 系統看護学講座専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 第14版, 医学書院 2. 大平光子他. (2022). 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改定第3版, 南江堂. 3. 坂井健夫他. (2022). 系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 専門基礎分野1 解剖生理学 第11版, 医学書院		
参考図書	1. 森恵美他. (2021). 系統看護学講座専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 第14版, 医学書院 2. 末岡浩他. (2019). 系統看護学講座専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器 第15版, 医学書院 3. 医療情報科学研究所編. (2018). 病気がみえるvol.10産科 第4版, メディックメディア 4. 平澤美恵子. (2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス 褥婦と新生児の観察とケア、母乳育児を理解しよう, インターメディカ 5. 中村幸代編. (2018). 根拠がわかる母性看護過程—事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画, 南江堂 6. 太田操編. (2023). ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程 第4版, 医歯薬出版株式会社 7. 川島みどり監訳. (2006). ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開, エルゼビア・ジャパン 8. 坂井建雄他(2022). 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック, 医学書院		
教員に対する 質問方法	常勤: メールアドレス: ○○@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤: 連絡可能なメールアドレスor教務部アドレス(教務部: kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護演習7(死にゆくこと)		BNNHN08E37	202240414	2後(7T)	2(30)	必修
担当教員	◎ 中村 正子	実務歴	有	看護師として病院に10年/訪問看護師として2年間勤務		
担当教員	門田 典子	実務歴	有	看護師として病院に19年勤務		
概要	人間と生活行動7、および生活行動逸脱看護7の学修を基盤に、 <u>エンドオブライフ期</u> にある人の生活行動について、ライフスパン/生活の場/健康状態を踏まえ、安全/安楽/自立/自律を基盤に、対象者への尊厳に配慮した看護の方法を創出し、実施/評価/改善する思考と実践を学ぶ。グループワークを中心に、学生同士で体験し、対象者の立場での評価を行う。					
到達目標	1. エンドオブライフ期にある個々人の生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済的要因に対応した看護実践が計画できる。 2. エンドオブライフ期にある人のフィジカルイグザミネーションが実践できる。 3. エンドオブライフ期にある人とその家族に対して、安全/安楽/自立/自律を基盤とした援助が考案ができる。					
関連科目	人間と生活行動1から7 生活行動逸脱看護1から7 生活行動看護演習1から7					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対しての評価基準等		フィードバック方法	
	定期試験	60	到達目標1-3 60%		試験レビューで説明する	
	課題の取り組み・確認テスト・レポート	40	到達目標1-3 40%		講義内で説明する	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間	
1	ガイダンス 12の生活行動に影響を及ぼす生物学的、心理的、社会文化的、環境的、政治経済的要因		【予習】シラバスを読む 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
2	エンドオブライフ期にある人への安全な環境を整える看護(環境整備/臥床患者のリネン交換)		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
3	エンドオブライフ期にある人への動くことを整える看護(褥瘡予防/安楽な体位/自動・他動運動)		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
4	エンドオブライフ期にある人への清潔と身だしなみを支える看護(整容/足浴/手浴) 実践計画、共有		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
5	エンドオブライフ期にある人への清潔と身だしなみを支える看護(整容/足浴/手浴) 実践、対象者の立場での評価		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
6	エンドオブライフ期にある人への清潔と身だしなみを支える看護(整容/足浴/手浴) 修正と実践、評価		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
7	エンドオブライフ期にある人への安全な環境を整える看護(化学療法/放射線療法/輸血・幹細胞移植時の看護)		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
8	エンドオブライフ期にある人への安全な環境を整える看護(化学療法/放射線療法/輸血・幹細胞移植時の看護)		【予習】演習に関して指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
9	エンドオブライフ期にある人への「食べること」「エンドオブライフ」を支える看護(悪液質/倦怠感)		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
10	エンドオブライフ期にある人への「食べること」「エンドオブライフ」を支える看護(抑うつ/せん妄)		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
11	エンドオブライフ期にある人への「動くこと」「排泄すること」を整える看護(フィジカルイグザミネーション・アセスメント/腹部腰背部温湯法/摘便/痛みへの対応) 生活行動に影響する心理的要因への看護		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	
12	エンドオブライフ期にある人への「呼吸」を整える看護(フィジカルイグザミネーション・アセスメント)実践計画、共有		【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う		予習2時間 復習2時間	

13	エンドオブライフ期にある人への「呼吸」を整える看護（フィジカルイグザミネーション・アセスメント）実践、対象者の立場での評価	【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
14	全人的な苦痛と看護（死にゆく人との対話/受容のプロセス/家族支援/意思決定）	【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う	予習2時間 復習2時間
15	エンドオブライフ期にある人を支える看護 まとめ	【予習】指示された事前学習を行う 【復習】指示された事後課題を行う(レポート)	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	①任和子(最新刷):根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院 ②亀井智子(最新刷):根拠と事故防止からみた老年看護技術 ③系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ ④系統看護学講座 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ ⑤系統看護学講座 別巻 がん看護学 ⑥川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開, エルゼビア・ジャパン		
参考図書	授業中に紹介する		
質問方法	中村正子:m_nakamura@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:HPを確認 門田典子:n_kadota@kyotokango.ac.jp		

授業科目		教育課程ナンバー		時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
生活行動看護総合演習		BNNHN08E38		202240415	2年次後期	2(15)	必修	
担当 教員	◎田村葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務				
	三林聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務				
	鯨坂由紀	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務				
	中森美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務				
		実務歴	有					
	林里沙子	実務歴	有	助産師として病院／診療所に6年勤務				
		実務歴	有					
概要	既修の科目内容を基盤に、「臨地実習において看護学生が行う基本的な看護技術の水準」を達成するために、 基本的看護技術 、およびそれに伴う 知識やアセスメントの要点 を再確認する。							
到達 目標	既修の科目内容を基盤に、健康障害により生活行動が逸脱した患者の 1.病態・生理を述べることができる。 2.病態・生理を基に、情報をアセスメントすることができる。 既修の科目内容を基盤に、健康障害により生活行動が逸脱した患者に必要な 3.看護援助とその根拠・留意点を述べるができる。 4.基本的看護技術が実践できる。							
関連 科目	人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7							
成績 評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評 価		評価に対するフィードバック方法			
	定期試験	50%	到達目標1・・・10% 到達目標2・・・20% 到達目標3・・・20%		定期試験後のレビュー			
	技術試験	50%	到達目標3・・・20% 到達目標4・・・30%		技術試験後のレビュー			
※定期試験、技術試験の 両方ともが60%以上 であれば、単位が修得できます。 したがって、 いずれかが60%未満であれば、定期試験、技術試験ともに再試験対象 となりますので、注意をしてくだ さい。								
DPとの 対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力			命をいつくしむ力		
	科学的論理的思考力		全人的人間理解			職業倫理と人権擁護		◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践		◎
授業の 進め方	授業(3.4限)は、事前学修を基に発表や技術演習を行いますので、1.2限を事前学修時間として、5限を事後学修時間の 一部として確保しています。 事前学修を十分行った上で、授業に参加してください。							
回	時限	学修内容		予習内容		復習内容	取組 時間	
1	3	ガイダンス(科目の位置づけ等) 生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生 活行動援助		・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠 をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事前学修および 授業の振り返り	事前 2時間	
2	4	グループワーク:立案した看護計画の加筆・修正		・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠 をまとめる。 ・看護技術を実践できる。			事後 2時間	
3	3	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生 活行動援助		・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠 をまとめる。 ・看護技術を実践できる。			事前 2時間	
4	4	技術演習:グループ毎に(iPadで撮影後、フィード バック)①		・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠 をまとめる。 ・看護技術を実践できる。			事後 2時間	

5	3	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生活行動援助	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。	事前学修および授業の振り返り	事前 2時間	
6	4	技術演習：グループ毎に(iPadで撮影後、フィードバック)②	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事後 2時間	
7	3	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生活行動援助	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事前 2時間	
8	4	技術演習：グループ毎に(iPadで撮影後、フィードバック)③	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事後 2時間	
9	3	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生活行動援助	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事前 2時間	
10	4	技術演習：グループ毎に(iPadで撮影後、フィードバック)④	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事後 2時間	
11	3	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生活行動援助	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事前 2時間	
12	4	(技術評価)①	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事後 2時間	
13	3	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生活行動援助	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事前 2時間	
14	4	(技術評価)②	・患者の病態・生理をまとめる。 ・患者に必要な看護援助とその根拠をまとめる。 ・看護技術を実践できる。		事後 2時間	
15	1-5	生活行動が逸脱した患者の看護に必要な知識と生活行動援助 ・臨床指導者の方からフィードバック ・技術評価指標の確認	別途指示		事前 事後 2時間	
使用テキスト	人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護演習1～7で使用したテキスト					
参考図書	適宜紹介する					
教員に対する質問方法	常勤：田村葉子：y_tamura@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護実習1(環境と生活行動)		BNNHN06P45	202240422	2前	1(30)	必修
担当教員	◎宇野真由美、ほか		実務歴	有	看護師として病院に7年勤務	
概要	入院加療している人々の生活や生活行動援助のリアリティに触れ、環境と生活のありよう、援助内容、さらに患者・利用者の反応と変化を通して、生活行動看護の意義を考察する。					
到達目標	1. 患者の療養環境や、生活のリアリティーに触れ、感じ考えたことを表現できる。 2. 援助の見学および患者との会話を通して、人間・健康・環境・生活・看護について考察できる。 3. 安全性・安楽性・自立性・自律性に配慮した、生活行動援助について考察できる。 4. 生活行動援助を行なう意義について記述できる。					
関連科目	人間と生活行動1～3、生活行動逸脱看護1～3、生活行動看護演習1～3					
成績 評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	実習要項参照			実習中の面談		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組 時間
実習要項参照						
使用 テキスト	川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン					
教員に対する質 問方法	メールアドレス:m_uno@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護実習2(看護過程)		BNNHN08P46	202240423	2後	2(60)	必修
担当教員	◎宇野真由美、ほか		実務歴	有	看護師として病院に7年勤務	
概要	医療機関に入院している人々とのコミュニケーションを通して、その対象を全人的に理解し、人間関係の構築、人権擁護について学ぶ。また、ローパーの生活行動看護モデルを基に受持ち患者を通して、健康および生活上の課題の判断に必要な「情報収集」、「情報整理・分析」、「情報の統合」の思考過程および一連の看護過程を体験し、看護実践能力の基礎を培う。					
到達目標	1. 尊厳と人権擁護を基盤にして看護の対象となる人々と治療的人間関係を形成できる。 2. ローパーの生活行動看護モデルを基に、受け持ち患者の看護過程が展開できる。 3. 病院における保健・医療・福祉などヘルスケアの提供組織とその仕組みを理解し、チーム内での看護の役割について述べることができる。 4. 看護過程の展開を通して、看護の専門性について記述できる。					
関連科目	人間と生活行動1～7、生活行動逸脱看護1～7、生活行動看護実習1～7臨床推論、看護過程論1、看護過程論2、看護過程論演習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	実習要項参照			実習中の面談		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
実習要項参照						
使用テキスト	川島みどり監訳(2006):ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開,エルゼビア・ジャパン					
教員に対する質問方法	メールアドレス:m_uno@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					